

パブリックコメントで寄せられた意見の概要及び市の考え方

令和2年2月12日から3月13日までの間、海津市 学校施設の長寿命化計画（案）について意見等の募集を行った結果、1人の方から3件の意見等をいただきました。

これらの意見について適宜要約したうえ、項目ごとに整理し、それに対する市の考え方を次のとおり公表します。

統廃合について 3件

意見の概要	件数	市の考え方
<p>長寿命化型においても2040年以降にも大きな投資が必要になり、2050年には改築が必要になってくることを踏まえると、2040年度以降に統廃合を視野に入れた改築を開始したほうが良いのではないかと。</p> <p>また、30年代には改築を視野に入れた改修の見直しが必要と思われる。</p>	1	<p>現状の学校施設の長寿命化を図るため、今後の維持・更新コストを概算した結果、2030年代のコストは低くなります。</p> <p>学校の統廃合は、海津市小中学校の適正規模検討委員会で取りまとめられた基本方針に基づき、令和2年度から海津地区において、小学校統合の具体案等について協議していただく予定です。</p> <p>小学校統合の具体案が決定されれば、必要に応じて本計画の見直しを実施していきます。</p>
<p>小学校においては、スクールバスの併用で早めに（2030年代）統廃合することも視野に入れるべきだ。</p> <p>1学年1クラス25～35人としても150人以上が統廃合の目安ではないかと。</p> <p>下多度は養老地区（池辺、上多度）への越境通学もしくは城山小、大江、東江は西江小に統合。吉里、海西は今尾に統合とか。</p>	1	<p>前記のとおり、令和2年度から海津地区において、具体案等について協議していただく予定です。</p> <p>その後、他地区においても児童数の動向を注視しながら、順次検討していきます。また、通学方法としてスクールバスについても、併せて検討していきます。</p> <p>他地区においても小学校統合の具体案が決定されれば、必要に応じて本計画の見直しを実施していきます。</p>
<p>中学校においては現状維持が妥当と思われるが寮付きの中一貫校をどこかに作ったらどうか。</p> <p>海津明誠高校の分校を作り一貫教育の中学校を作り優秀な人材を集めたらよいと思う。</p> <p>他地区からの入学者を考慮して城南中の場所が良いのではないかと。</p>	1	<p>中学校においては、平成28年4月に現在の城南中学校が開校し、市内3中学校体制となっています。今後、生徒数の動向を注視していくものの、現状の学校数を維持することとしていますので、ご提案の一貫校については、検討していませんのでご理解いただきますようお願いいたします。</p>